

(様式②-1) 平成30年度事業計画書 (局・統括本部)

[都市整備局 金沢八景駅東口開発事務所]

事業名		
1 款	1 項	1 目
金沢八景駅東口地区 土地区画整理事業		

特記事項	
未来のまちづくり戦略	○
新規・拡充	

戦略番号	3
戦略番号	

事業評価書 番号	67
事業評価書 番号	

(単位：千円)

区分	金額	財産収入	一般会計繰入金			
			財源内訳		一般財源等	
			国	県	市債	一般財源
30年度	425,380	5,380	10,000		10,000	400,000
補助事業	20,000		10,000		10,000	
単独事業	405,380	5,380	補助率 50 %			400,000
29年度	679,584	7,710	179,500		153,000	339,374
増△減	△ 254,204	△ 2,330	△ 169,500	0	0	△ 143,000

歳出		26年度	27年度	28年度
予 事業費		671,460	809,030	1,209,980
算 市債+一般財源		462,917	635,065	755,891
決 事業費		1,071,833	668,158	753,831
算 市債+一般財源		723,074	521,948	531,136

歳出		31年度	32年度
予 事業費		10,000	0
算 市債+一般財源		10,000	0

方針に関する決裁 種別()
有()・無()

【事業の概要及び30年度実施内容】

金沢八景は、市の臨海部の玄関口として重要な位置づけにありますが、国道16号の渋滞、駅前広場、下水道等の基盤整備の遅れ、木造建物の密集、商店街の活性化等多くの課題を抱えています。そこで、安全で快適な都市環境を確保するとともに、交通ターミナル機能の充実や、駅前立地を活かした商業・業務機能の集積、また海・歴史等の地域特性を活かした魅力あるまちづくりを進めるため、土地区画整理事業を行っています。また、金沢シーサイドライン延伸、東西自由通路・駅西側道路整備、京急金沢八景駅駅舎改良、(仮称)金沢八景西公園整備が当事業に合わせて実施されています。

平成30年度は、駅前広場整備、区画道路整備工事、宅地造成、換地計画作成、移転補償等を進めます。

【実績の推移・今後見込み】

【実績】

平成19年度～平成21年度 減価買収による用地取得
平成22年度 仮換地指定、区画2号線整備
平成23年度 八景六浦線(半断面)整備
平成24年度 宅地整備、使用収益開始(1・2街区の一部)
平成25年度～平成29年度 宅地整備、区画道路整備、使用収益開始(2・3街区の一部等)
仮設店舗建設、電線共同溝整備
地下埋設物移設工事、電線共同溝整備、国道16号拡幅、4・5街区宅地造成、建物移転補償

【見込み】

平成30年度 駅前広場整備、区画道路整備工事、宅地造成、移転補償、換地計画作成、換地処分

【事業費の内訳】

区分	30年度	29年度	差引	説明
国庫補助事業	20,000	333,000	△ 313,000	
(旧)地域活力基盤創造交付金	0	260,000	△ 260,000	公共施設管理者負担金対象部分
移転補償費	0	260,000	△ 260,000	物件移転補償費
(旧)都市再生推進事業費補助	20,000	73,000	△ 53,000	
調査設計費	20,000	27,000	△ 7,000	換地計画作成、換地処分等
工事費	0	46,000	△ 46,000	区画道路整備等
市単独費	405,380	346,584	58,796	
調査設計費等	57,453	113,150	△ 55,697	測量、移転補償費積算等
工事費	185,100	45,762	139,338	区画道路整備、宅地造成等
補償等	141,274	177,436	△ 36,162	物件移転補償費、中断移転補償等
事務所管理費等	21,553	10,236	11,317	事務所建物リース、消耗品等
合計	425,380	679,584	△ 254,204	

【事業スケジュール】

平成22年度 仮換地指定、事業計画変更(地区計画等)、工事、移転
平成23年度～平成30年度 工事、移転、換地処分

【事業開始年度】

昭和61年5月24日 都市計画決定(平成18年3月 都市計画変更)
昭和61年12月5日 事業計画決定(平成26年3月 事業計画変更)

【根拠法令】

都市計画法及び土地区画整理事業法

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	高橋 寛雄	武 暁子	秋本 美奈子